



いきいきとした町づくりをめざして

# 議会だより かつうら

## No.13

2000. 11. 15発行

発行 徳島県勝浦町議会  
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国  
TEL (08854) 2-2511

ぼくらの21世紀へ!!  
(町民体育大会)

---

9月議会で決まったこと—2

委員会の活動報告—————4

一般質問に10議員が登壇——6

おじやまします・議会のうごき—16

---

国保会計など

# を可決

会計

7千円を追加)

畜産総合対策事業の補助金返還金  
476万1千円

簡易水道のメーター取り替え  
397万円

粗大ゴミ運搬処理委託料 37万6千円

問 補助率二分の一で、三年計画により十地区において実施する予定だ。

答 簡易水道のメーター交換はどのように行うのか。

問 指導体制等をきちんと整え、今後、このようなことが起こらないようにしたい。

答 事業に対する検査や指導の体制は十分だったのか。再発防止策は。

問 畜産組合への国の補助金を返還する予算が提案されているが、なぜこのようなことになったのか。

答 事業内容の事務処理に不手際があったのかどうかについて、県及び農政局で検討されているところだ。

## 議案に対する質疑

## 9月定例議会

このようなことが決まりました

九月十一日から二十日までの十日間開催され、補正予算、過疎地域自立促進計画、教育委員会委員の任命同意、固定資産評価委員会委員の選任同意等について審議し、全員一致で可決しました。また、平成十一年度各会計歳入歳出決算認定を総務委員会に付託しました。

一般質問には、十人の議員が登壇し、活発な論議が展開されました。



230万円の町費が必要な粗大ゴミ回収

一般会計、

# 補正予算

一般

(総額 2,487万)

● 主なもの ●

合併浄化槽推進事業 255万円

(国・県・町からそれぞれ85万円補助)  
10基分の補助金を追加

土地改良区補助金 309万5千円

末端施設の漏水補修工事や減圧弁等の取  
り替えなど

## 固定資産評価

### 審査委員会委員

幸山善巳氏(棚野)の

選任に同意

## 教育委員会委員

坂田淳一氏(星谷)  
朔章一氏(三溪)の

任命に同意

十月十七日、勝浦  
郡議員研修会が開催  
され、上勝、勝浦両  
町の議員、町長等が  
集いました。  
午前中、与川内地  
区の花団地(代表  
高橋嗣男さん)と久  
国、坪内奈津子さん  
の高設栽培いちごハ  
ウスの見学を行い、  
午後は、徳島市で開  
催された市町村合併  
シンポジウムに参加  
しました。

## 郡内の議員が研修会

## いちごハウス等を視察



いちごの高設栽培を見学

問 耐用年数が来ていないため、今回、計画に入っ  
ていない生名、星谷簡易水道のメーター取り替  
えはどうなるか。

答 耐用年数が来た時点で、同じ条件により補助したい。

問 児童手当の支給対象が、二歳未満から五歳未  
満に広がることによってどう変わるか。

答 百二十人から二百五十人に対象者が増える。

# 総務

## 納税貯蓄組合

### 補助金を廃止

理事者から 八月八日、九月一日に委員会を開き、納税貯蓄組合補助金（報償金）廃止問題、情報公開条例、過疎地域自立促進計画案、十二年度補正予算などを審議しました。

理事者から 昭和三十年から交付されてきたが、最近、各地で問題になり、違法との判決も出ているので、十二年度から廃止をしたいと説明がありました。

問 組合の理解とその後の対応は。

答 異論もあつたが、理解してもらえたと思っている。補助金が廃止されると活動の必要がないので解散すると言っている。

委員から 残金のある組合に対しては、その処理を適確にするよう指導する必要があると指摘しました。

### 情報公開条例について

理事者から 「来年四月に条例が制定されても、施行時期は、事務処理などの関係で遅らせなければ間に合わない。条例案づくりに住民の参加も必要であり、懇話会を作つて意見を聞きたい。



情報公開に向け事務処理に懸命

また、議会の情報公開の取り扱いについての意見も聞きたい」と発言がありました。

委員から 住民参加の懇話会委員の人は、慎重に進めてもらいたいとの意見があり、議会の情報公開については、全員協議会に諮りながら進めていくことに決まりました。

### 過疎地域自立促進計画案について

理事者から 過疎新法が制定され計画の提出が急がれており、九月議会に議決してほしいと説明がありました。

委員から 計画に入っていない事業でも、追加などの対応が必要であるとの指摘がありました。

## 活動報告

察をしました。

## 産業建設

### 畑総施設の移管と水利権 一体と考えて対応

六月二十九日、七月十九日、九月四日、十月十八日、委員会を開き、畑総施設の移管と水利権、土木建築工事に伴う業者の格付け、誘致工場撤退の問題等について審議しました。

理事者から 畑総施設移管と水利権の問題について、県と協議中であるという報告がありました。

問 河川法改正後の水利権の問題点は。

答 水利権は十年に一回の更新が必要である。使用実績によつて、年間総取水水量三百九万tよりも減されるおそれがある。

問 事業の当初は、水利権確保を目的にしてきたのは。

答 水利権を持ったとしても、何にでも自由に使えることにはならないという県の説明だ。

今後、施設の破損や維持管理が大きな問題になるため、県へ協力を要請していくこと、また施設移管と水利権の問題は、一体と考えて対応すべきだということが確認されました。

### 土木建築業者の格付け 五十八業者を県のランクに準じて

問 県の業者格付けの基準は。 答 工事の出来高や技術者等の数、経営審査の点数等によつて決められている。

問 工事の施工において問題が起こっているのでは。

答 工事の一括下請けは禁止されている。工事の遅れに対しては、次の入札に参加させないなどのペナルティを課し、指導を強めたい。

### 伊藤電子が工場閉鎖

伊藤電子は、不況と親企業の海外進出などで仕事がなく、十月末で勝浦工場を閉鎖撤退するという報告を受けました。



閉鎖された伊藤電子勝浦工場



住宅マスタープラン調査地（生名地区）

八月三十一日、九月八日に委員会を開き、住宅マスタープランの調査結果、同和地区実態調査、簡易水道会計の補正予算などについて審議しました。

**理事者から** 生名地区で行われていた住宅マスタープランの調査結果が報告されました。

**問** 造成工事費はどうなっているのか。

**答** 西岡の調査地は1㎡当たり四万四千円であったが、生名地区は一万七千円と、かなり安くなっている。

**問** 今後、宅地分譲を進めていくのか。

**答** 生名地区は、規模を縮小して安く分譲できないか検討したい。

### 同和地区実態把握調査について

**理事者から** 対象地区のある県下全市町村で調査を実施しているの、本町も実施したいと説明がありました。

**問** 調査の方法は。また、調査員は地域の人の信頼関係が必要と思うが。

**答** 公務員が調査することになってるので、町の職員が聞き取り調査を実施する委員会として調査を実施することを了承しました。

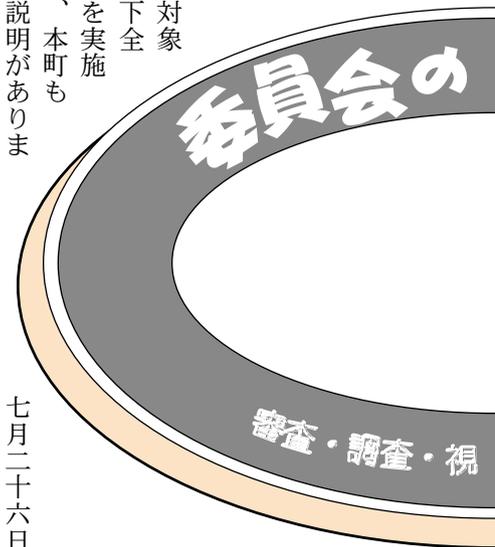
**問** 三年計画で水道メーター取り替え

**理事者から** 総費用二千三百八十五万八千円の二分の一を補助し、十地区の簡易水道組合のメーターを三カ年計画で取り替えるとの説明がありました。

**問** 取り替えの理由は。

**答** 県の立入り検査があり、八年間の耐用年数を過ぎたの使用は違法であるとの指摘があった。

**問** 簡易水道の補助率は従来三分の一でなかったのか負担が大きいという意見が多く二分の一となった。



### 厚生委員会 視察報告

## インターネットで子育て環境づくり

（新潟県中郷村）

七月二十六日から三日間、新潟県中郷村で少子化対策への取り組み、長野県中条村で介護保険制度の低所得者負担対策等について視察研修を行いました。

中郷村は人口五千四十一人の過疎の村です。平成十年度から地域の情報化に取り組んでおり、子育て支援はその中心事業です。インターネットに簡単に接続できる専用端末二百台を購入し、妊婦や乳幼児、小学生を持つ家庭に貸与して、育児に関する情報の提供や疑問等、豊富な情報で安心して子育てができる環境づくりを目指しています。

これからの行政にとって、インターネットを利用した地域情報化の推進は必要不可欠の課題となっており、実施に向けた取り組みを行いたいものです。

### 安心して健やかな生活が送れる村づくり

（長野県中条村）

中条村は人口二千八百七十一人、高齢化率三十八%の村です。全ての住民が安心して健やかな生活が送れる村づくりを目指して、医療・福祉・ボラン



熱心に聞かいる（中郷村）

## 行政改革

### 職員定数五%削減の方策は

可能なものは業務委託も（参事兼総務課長）

中田丑五郎 議員



### 坂小跡地利用計画とまちづくりへの効果は

問 坂本小学校跡地利用計画と地元を取り組みは、また、まちづくりへの波及効果は期待できるのか。

答 戸川産業振興課長 坂本地区が地域の活性化を目指し、区を上げてこの事

業に取り組んでいくことが基本姿勢である。学校の施設を有効に利用した宿泊、加工施設等をつくることで、三大イベントにも影響を与え、波及効果が広がっていくことを期待している。

問 事業に対する町の考えは。

答 川口町長 経費、施設管理、活性化等の問題を地元と検討しながら進めている。財政が厳しいので、少ない経費で町の活性化につながることを基本として考えている。

問 宿泊施設等の改造に要する事業費、管理費と資金調達についての考えは。

答 戸川産業振興課長 来年の当初予算に施設改修の事業費を計上する考えである。事業費の額については、今、地元と詰めの段階である。補助事業を活用して資金を調達し、管理経費も国・県のソフト事業の利用を考えている。管理体制は、地元と話し合いをしており、年度内

には結論を出したい。

### 粗大ゴミの処理量の削減への対応は

問 町が有料で回収している粗大ゴミの処理経費と今後の対応は。

答 尾原住民課主幹 年二回の粗大ゴミの回収量は、十一年度四十七、十二年度六十六tで、今後

も回収は必要と考えている。回収経費の町負担額は約二百三十万円である。

問 環境美化推進指導員制度の内容は。

答 尾原住民課主幹 国補事業により、五人の指導員がゴミの分別監視と各家庭を訪問し、分別指導や減量化への協力依頼等を行っている。

### 公共施設利用の有料化は

問 行政改革地区説明会でライター、フライトパーク

ク等の施設について、有料化をすべきとの意見があったが、町の考えは。

答 入田教育委員会事務局 長 学校施設の利用は、規則により、町民には無料開放となっている。ライター設備の有料化は、市町村によって異なっている。今後、行政改革の中で有料化も検討課題である。

答 戸川産業振興課長 フライトパークの利用者は、年間三百人程度で非常に少ない。都市との交流を図ることによって、多くの人が来るようになれば、有料化ということも考えていきたい。

は、年間三百人程度で非常に少ない。都市との交流を図ることによって、多くの人が来るようになれば、有料化ということも考えていきたい。



まちづくりへの効果は 坂小跡地

また、管理体制は、戸川産業振興課長 来年の当初予算に施設改修の事業費を計上する考えである。事業費の額については、今、地元と詰めの段階である。補助事業を活用して資金を調達し、管理経費も国・県のソフト事業の利用を考えている。管理体制は、地元と話し合いをしており、年度内



飛躍できるか フライトパーク

## レンタルハウス事業を 導入しては

集団レンタル化の方向で（町長）

川端雅夫 議員



り活性化に向け取り組んではどうか。特にいちごの高設栽培は若者に魅力のある作物と思うが。

**答** 川口町長 いちごも含め農家の意見を聞き、集団レンタル化の方向で積極的に取り組んでいきたい。

## ゴミ処理施設の 広域化は

一市五町村で  
取り組んでいる（助役）

**問** 東部一ブロックゴミ処理施設広域整備協議会、及び徳島東部臨海処分場対策協議会の現状はどうなっているのか。

**答** 倉橋助役 ゴミ処理施設は、小松島など一市五町村による協議会を設立し取り組んでいるところである。臨海処分場については、百五十億円予算で、松茂の空港沖に二十haの面積を確保し、



農業に思い切った施策を（いちごの高設栽培）

## 高齢化に 向けての 健康づくりは

予防事業に力を  
入れたい

（福祉課長）

**問** 十月から、六十五歳以上の人の介護保険料の半額徴収が始まるが、住民に対し周知ができていないのか。初歩的な問い合わせや苦情はないのか。

**答** 光井福祉課長 生活習慣病の予防対策や身体機能の低下の改善、また、転倒防止等について、勝寿会や愛育班に協力を依頼し、予防事業に力を入れていきたい。

十二年に着手、十八年四月に供用開始の予定である。

**問** ゴミ処理施設建設について一市五町村の足並みに乱れないのか。

**答** 倉橋助役 各市町村の足並みは完全にそろっている。

**問** もし、施設の建設場所等において協議が物別れに終わった場合、広域化を望む市町村の取りまとめをする考えはあるのか。

**答** 川口町長 時間はかかるが、協議会での話し合いはうまくいくと信じている。

**問** 光井福祉課長 各種会合、広報やパンフレットを作り理解を得ており、今のところ苦情や問い合わせはない。

**問** 三級ヘルパーの養成講座があり、六十二人が資格を取得したが、今後、二級ヘルパーの養成の予定はあるのか。

**答** 光井福祉課長 財政当局と十分協



今年から始まったグループホーム

## 教育改革

### 奉仕活動義務化の受け止めは

#### 奉仕の心は大切だ（町長）

森 敏治 議員



あると思う。

**答**

松浦教育長 近年、少  
年の凶悪犯罪、いじめ、  
不登校、学級崩壊が全国的に  
問題になっており、心の教育  
の大切さが問われている。奉  
仕活動を通じて子供たちがい  
ろんな体験をすることで、自  
ら問題を解決していく能力を

身に付け、豊かな人間性を育  
成しようというものである。  
奉仕活動が義務化されれば、  
学校、地域、家庭が連携を持っ  
て取り組まなければならない  
と考えている。

**問**

教育委員会の改善も提  
言されているが。

**答**

松浦教育長 教育委員  
に保護者を入れてはど  
うかということが提言されて  
いる。  
PTAで保護者の意見を聞  
く機会もあるので、正式に決  
まれば関係者と協議していき  
たい。

### 人権条例の 改正や廃止は

審議会の  
結果を基本に  
（町長）

教育改革でどう変わる？

**問**

人権条例  
は平成六  
年七月に制定さ  
れた。六年を経  
過すれば審議会  
を開き内容を検  
討するとなっ  
ているが、審議会  
の状況は。

**答**

滝花 参事  
兼総務課長

審議会は六月か  
ら三回開き、条  
例の見直しにつ  
いて検討してい  
る。また、教育  
委員会で意識調  
査も実施してお  
り、これらの結  
果や今までの啓  
発事業の実績な  
どから、見直し  
について検討し  
ている。

**問**

条例の改  
正や廃止  
を考えているの  
か。

**答**

川口町長  
審議会で

検討中であり、その結果を基  
本に考えたい。

### 広域農道に 補正予算を

追加補正が望まれる広域農道

**問**

国では公共事業の見直  
しが行われているが、  
東部広域農道や南岸農免農道  
は、勝浦町の事業の中では最  
も有利で大きな事業である。  
広域農道工事の十二年度の計  
画は。

**答**

秋本建設課長 第四工  
区は舗装の完了、第五  
工区で五十m、第七工区で九

**問**

十五m、第八工区で百十五m  
の延長工事を計画している。  
関係者は一日も早い完  
成を熱望している。ま  
た、建設業者も仕事が少ない  
閑散とした状態だ。積極的な  
取り組みをしてほしい。

**答**

秋本建設課長 今まで  
の十五年間で進ちよく  
率六十五%であり、残った区  
間を十年間で仕上げるとする  
と、年間三億円は必要である。  
本年度予算は二億円なので追  
加補正は必要と思うが、財政  
面もあるので、内部で十分検  
討して実施しなければなら  
ないと思っている。



追加補正が望まれる広域農道

**問** 教育改革国民会議は、  
小学校、中学校、高等  
学校にそれぞれ奉仕活動の義  
務化を提言している。この提  
言や文部省の来年度の取り組  
みについてどう受け止めてい  
るか。  
**答** 川口町長 戦後五十年  
の教育の中で、いろい  
ろな問題が起きてきている。  
自己中心的な考え方でなく、  
思いやりや奉仕の心、感謝や  
尊敬の気持ちが大切であり、  
お互いに協力して社会が成り  
立っているということを、教  
育の現場からも見直す必要は



## 男女共同参画社会

### 町の計画はできているのか

まだできていない（町長）

原田昭三 議員



ということになっていないが、できているのか。

**答** 川口町長 まだできていない。

**問** 町としては、女性委員の比率をどのくらいにしようと考えているのか。

**答** 川口町長 できるだけ国の方針に沿って、三十%近くまで持っていきたい。

**問** 今までの審議会等の委員は、各種団体の長を委員に選任してきたが、今後は、公募の必要があるのではないか。

**答** 川口町長 公募の方法も取り入れるようにしたい。

### 介護保険料

### 低所得者への減免は

状況を見て対策を考える（福祉課長）

**問** 十月から、六十五歳以上の人の保険料の徴収



地域交流スペース「みかんの郷」

が始まる。所得の低いランクである第一段階、及び、第二段階の人数は。その内、年金が月一万五千円以下の人、すなわち、年金から保険料を天引きするのでなく、役場が集めなければならぬ普通徴収は何人か。

**答** 光井福祉課長 第一段階は二十九人で、その内、普通徴収者は十三人。第二段階は、六百五十五人で、普通徴収者は六十二人である。一カ月二万円程度の年金で生活ができると思うが、町長も、せっぱ詰まっ

て困った人は、助けなければいけないと言ったが、低所得者に対して保険料の減免制度が必要なのではないか。保険料の未納者が出て来た場合どうするのか。

**答** 川口町長 始まったばかりの制度なので、いろいろ問題はあると思うが、保険料の

減免については、まだ煮詰めていない。

**答** 光井福祉課長 低所得のためにどうしても保険料が払えない人については、状況を見る中で対策を考えていかなければならないかと思っている。



信号機を設置しては（長柱の県道）

### 長柱地区への信号機の設置を

**問** 飯谷町長柱あたりの県道の狭いところで、大型車が行き当たると、なかなか交わすことができず、長時間の渋滞が起こることがよくある。スムーズな通行のために、県に信号機の設置を検討してもらってはどうか。

**答** 秋本建設課長 徳島東署の管轄なので、要望してみたい。

川は町民のもの

## 砂利採取税を研究しては

検討してみる（町長）

井出幸夫 議員



**問** 勝浦川は町の宝であり、住民のものだ。しかし、一部の業者が川の恵みを独占してきたのではないか。過去十年間の砂利採取の実績は。

**答** 秋本建設課長 平成二年以後、勝浦川砂利採取販売組合に対して五回許可され、採取量は勝浦川全体で約十六万<sup>m<sup>3</sup></sup>。勝浦町関係で十三万四千八百四十二<sup>m<sup>3</sup></sup>である。販売先は、小田建設有限会社と大和興業株式会社である。

**問** 昨年の砂利採取について、町としては、河床低下など災害につながる



川の恵みは町民のものに

**答** 川口町長 議会や町民の意見を聞く中で決めます。

**問** 町が許可することに反対した結果、中止になった。今年、砂利採取の申請がされた場合の対応は。

**問** 砂利採取は同和地区の業者のみに限定されているが、あと一年半で同和の特別法は終了する。こんな特権的扱いはやめるべきだ。

**答** 川口町長 町内には五十以上の業者があるの

**問** 市町村独自で砂利採取税を作ることもできる。以前は、国の許可を得るために膨大な事務手続きが必要だったが、地方分権一括法により、今年度からは大きく条件が緩和された。神奈川県では、一千万円の税収を得ている。研究してどうか。

**答** 川口町長 そういう方法がとれるなら、ありがたい。検討してみる。

## 公共事業の見直しは

目立った方向転換はできていない（町長）

昨年九月議会において、町長は、「東部広域農道も含めて公共事業全体を見直す必要がある」という答弁をした。どのように見直したのか。

**問** 川口町長 今年度の予算編成前に、必要性や効果などについて検討した。今までと何も変わっていないのではないか。

**答** 川口町長 予算については、目立った方向転換はできていない。今後、行政評価制度なども併せて検討してみたい。

**問** 吉野川可動堰化問題をはじめ、全国各地で住民投票が行われている。大事なことは住民が決めようという考えだ。町村合併など町の将来を決める重要問題等については、積極的に住民投票を行うという考えはあるか。

**答** 川口町長 大きな問題については、住民投票

で町民の意見を把握して行政を進める必要があると思う。

## 介護保険料を

払えない時は

絶対見捨てない（町長）

**問** 三月議会にて町長は、「保険料を払えない人を見捨てるようなことはしない。必要な場合には介護保険条例の改正をしたい」と答弁した。しかし、条例改正案は提案されなかった。

**答** 低所得などの理由で保険料を払えない人が出て来ても、救済できる方法があるのか。

**問** 光井福祉課長 生活保護以外に方法は無い。

**答** 未納者は介護サービスを受けられないというペナルティがあるが、「もし、払えなくなったら」という不安にどう答えるか。

**問** 光井福祉課長 未納があっても、一年半の間はペナルティを課せられることはなく、サービスは受けられる。その間に、対策を検討していきたい。

**答** 川口町長 弱いものの立場に立ち、見捨てるようなことは絶対しない。

**問** 川口町長 大きな問題については、住民投票



勝浦みかんが販売される東京青果のせり市



押栗義雄 議員

## 勝浦みかんの個性を 発揮できる方策は

貯蔵庫から直接消費地へ（町長）

**問** 勝浦特産の貯蔵みかんは、有利な販売条件を備えた有数の産地と思うが、

今後の販売方策は。

**答** 川口町長 東京への出荷は、生産者とJAの

協力を得て、貯蔵みかん本来の味と鮮度を損なわないコンテナ出荷を目指したい。

**問** 農業の後継者育成は、町の最重要課題である。

育成の具体的な支援策は。

**答** 川口町長 国の

県の有利な補助金活用と、思い切った町費の投入等を検討している。

## 過疎地域計画推進 に必要なものは

住民参画型の行政が必要（町長）

**問** 地方分権時代を迎えた今日、過疎地域自立促進計画推進には何が必要と

思

**答** 川口町長 住民参画型の行政が必要であり、

また、住民の意識改革も大切

**答** 倉橋助役 この計画は十二年度からの五カ年

計画で、若者定住、基幹産業の担い手、生活環境など現状の課題をクリアし、住みよい郷土づくりを目指して策定した。

## 事業への財政投資 のあり方は

有利な財源を活用（建設課長）

**問** 事業の縮小は、町民経済に多大な影響がある。

財源確保や効率的財政投資が重要と思うが、事業推進の考え方は。

**答** 秋本建設課長 国の

県の補助や、有利な起債を優先活用して事業の推進を図りたい。

## 少子化と 学校教育の あり方は

郷土の体験  
学習が必要  
だ（教育長）

**問** 勝浦町には、恵まれた自然美や特

有の歴史や文化があり、大切な資源や財産となつている。ふる里の良さを、学校教育に取り入れるべきと思うが。

**答** 松浦教育長 地域に根ざした体験学習を取り

入れ、社会性が身についた人間性豊かな子供に成長することが大切であると思う。また、ふる里の良さも子供たちに伝えていきたい。

## 少子高齢化の 対応策は

**問** 福祉の町として、施設は充実してきたが、数字が示すような高齢化が進めば、財政改革が問われている町として、福祉行政の選択が必要と思われるが。

**答** 光井福祉課長 福祉施策は見直しの時期に来ている。見直しとなると、福祉の後退と考えられ理解が得られにくいのが、今後どういう福祉にするのかよく検討していきたい。



ふる里の良さを学校教育に

## 無人ヘリコプターによる

## 農業支援をしては

### ファームサービス見直しの中で検討したい

(産業振興課長)

森 健 議員



**問** でJAと検討していきたい。ヘリの利用状況と、農薬散布の安全対策は、

**答** また、みかん園への利用はできないか。戸川産業振興課長 県内では約二百ha、町内は二十七haで二十五%の水田が利用し、経費は十a当たり三千五百円と、従来に比較して安い。安全対策として、県の病虫害防除所の許可が必要であり、適用農薬の使用が義務づけられている。畑地への利用は、防除区域が見えるこ

と、機械運搬農道、離発着場が必要条件である。  
**問** 農家の高齢化や担い手の減少によるヘリ防除希望者の増加、また、効果と経済性等から、勝浦農業維持のためには、ヘリ利用が欠かせない時期に来ていると思うが、町が持ち、委託運用できないか。

**答** 戸川産業振興課長 ヘリの価格は七百万円から一千万円程度で、補助事業対応も可能であるが、オペレーターの問題、維持管理費などから業者とのリース契約の方向で、農家の作業軽減に向けていくのがよいのではないかと考えている。

の調整も複雑になる。町としては、統一的なものにするのか、地域地域の考えとするのか、また、他の方法をとるのか。  
**答** 戸川産業振興課長 集落ごとに条件が違うので、一番有利な方法で測量するように考えている。

### まちづくり推進 交付金制度を 設けては

財政難で無理(町長)

**問** 納税貯蓄組合に交付していた補助金を廃止するとのことであるが、これは、住民総参加で進めてきた个性的な地域づくりの資金として、大変有用なものであった。代わりに、まちづくり推進交付金制度を設ける考えはないか。

**答** 川口町長 地域の活性化や町民のコミュニケーション、住民参加の行政等、小さな投資で大きな効果は理解できるが、財政改革真つた中である。今のところ考えていない。

### 中山間地域等直接 支払制度傾斜農地 の測量法は

一番有利な方法を採用  
(産業振興課長)

**問** 支払いを受けようとする農地の地形が、急な傾斜農地と緩い傾斜農地で構成された地形では、傾斜測量の仕方によって、支払単価の適用範囲も異なってくる。集

落協定等の関係から持ち主間

**問** JA東とくしま勝浦管内では、無人ヘリによる防除作業を行った。JA職員の話では「希望者は予想外に多く効率もよいが、希望水田への案内など苦勞と時間を要した。今の農業事情から考えて、防除組合のような組織があれば」とのことである。

**答** 戸川産業振興課長 グリーンサービスがヘリ防除を平成十年から行っている。組織づくりについては、

ファームサービス見直しの中



無人ヘリによる農薬散布

## 環境保護条例の制定をしては

### 調査研究して必要かどうかを考える（町長）

福徳重二 議員



**答** 川口町長 よく調査研究して、必要であるかどうかの判断を示したい。

川口町長

**問** ゴミの不法投棄、それによる流水汚濁、産業廃棄物の野焼きによるダイオキシン問題、空き缶のポイ捨て、土砂のほうり積みや草木の生え茂りなど環境の悪化を思う時、どうしても環境保護条例が必要と思う。二年前に調査研究すると言っていたがしていないのはどういうことか。

**答** 川口町長 調査研究して検討すると答弁したが、できていない。

**問** 環境美化は重要だ。「できていない」では困る。今後、どのような方法をとるのか。



改修が急がれる掛谷川

## 行きたくない高校へ進学することも

**問** 普通科高校の通学区が平成十五年度から再編される。勝浦町の生徒の進学は、小松島、勝浦高校に限定される。行きたくない学校へ行くのは酷な話である。これが一番よい方法なのか。

**答** 川口町長 よく調査研究して、必要であるかどうかの判断を示したい。

**答** 松浦教育長 学校間格差の解消、地元高校の育成等がよい面で、他学区への進学については、受け入れの定員数の八％を推薦入学とする方法がある。

**問** 今後、八％の数字は変わらないのか。

**答** 松浦教育長 変わることもがあるかも知れないが、八％よりあまり高くなる」と再編の意味がなくなる。

**問** 一昨年二月には用地交渉の内諾ができ、あとは本交渉ができ次第、改修工事にかかりたいとのことであった。その後、動きは完全に止まっている。なぜなのか。

## 掛谷谷川の改修が遅れているのでは

**答** 秋本建設課長 地権者から条件提示があつたが、県としては条件を満たすことができないので遅れている。

**問** 今後、地権者からの条件を満たすような努力をするのか。

**答** 秋本建設課長 難しい条件なので先は分からないが、努力をして改修したい気持ちは持っている。

## 請願が出された人形会館建設は

ビッグひな祭りの入場者が、毎回平均三万五千人。ひな祭りとしては日本一の大イベントも十二回を数えた。また、勝浦町の伝統芸能である人形浄瑠璃が、勝浦座によって全国で上演されている。町民一千百十五人から人形会館建設促進の請願が議会に提出されたが、町長はどう思うか。

**問** 川口町長 人形会館建設のために全力投球したい気持ちはあるが、議会の意見を尊重し判断したい。

**問** 六十五歳以上の人からの介護保険料は、十月から半額が年金から天引き徴収される。また、年金額の少ない人は、口座振替か町の窓口で直接支払うことが義務付けられている。

**問** 介護を受けていないのにお金を徴収されるのは困るとの苦情があるが。

**答** 光井福祉課長 今のところ役場への苦情はないが、町民に理解してもらえよう徹底した説明をしたい。

## 介護保険料徴収に不満の声

**問** 今後、地権者からの条件を満たすような努力をするのか。

**答** 秋本建設課長 難しい条件なので先は分からないが、努力をして改修したい気持ちは持っている。

**問** 今後、地権者からの条件を満たすような努力をするのか。

**答** 秋本建設課長 難しい条件なので先は分からないが、努力をして改修したい気持ちは持っている。

## 星谷橋改築の見通しは

### 財政状況が良くなれば（町長）

国清 栄 議員



老朽化が進む星谷橋

**問** 今山橋の工事は順調に進んでいるようだが、星谷橋も老朽化がかなり進んでいる。今山橋が完成すれば、次は星谷橋ということになるが、その傷み具合と改築に向けての考えは。

**答** 秋本建設課長 星谷橋は、農免農道事業により、もとの橋を下流に2m広げている。そのパイルの根入れ部分や橋脚が、洪水による洗掘で厳しい状態である。また、橋本体も、下から見ると鉄筋の露出など思った以上に老朽化の速度が早い。

**答** 川口町長 過疎自立促進計画の中に入れていますが、今山橋が完成すれば、次は星谷橋とはいかない。財政が厳しい中なのでよく検討して、できるだけ早い機会に取り

り組みたいという気持ちを持っている。

## 生名堤防の

## ゴミ放置に 抜本的対策を

### 県に連絡し 対処したい （住民課主幹）

**問** 運動公園や河川敷を訪れる人たちによると思われる、ゴミ放置が増えている。特に、生名堤防周辺は立て看板などで注意を呼びかけているが、効果は少ない。また、この場所は川側に土砂が溜まり、堤防上の幅も広く、駐停車しやすく草も生えやすい。改善できないか。

**答** 尾原住民課主幹 町内の環境美化については、各地区の多くのボランティアの協力を感謝している。指摘の場所については、ゴミ投棄禁止の看板付近が、特に捨てやすく、土砂の取り除きについては、県当局に連絡を取り対処していきたい。



ゴミが散乱する生名堤防

## 通学区区域再編 中・高一貫教育に つながるのか

**問** 通学区再編が二千三年に行われる。これが今後の中・高一貫教育へとつながっていくのではないか。また、勝浦高校存続についての考えは。

**答** 松浦教育長 この再編が、中・高一貫教育へつながっていくかどうか現時点では分からない。

**答** 川口町長 中・高一貫教育については、前教

育長の時、保護者に意見を聞いたが、同意を得られなかった経過もある。勝浦高校の存続には、中・高一貫の制度を取り入れた方がよいと判断している。

## 中山間地域等 直接支払制度 現況と図面の 食い違いは

**問** 各地区の役員によって、千分の一の畑総図面に地番、状況などの記入が行なわれたが、現況と図面が食い違っている所がある。また、標高の高い所は入っていない。どうするのか。

**答** 戸川産業振興課長 畑総図面に記入してもらったが、県が作成する二千五百分の一の航空写真に移し替えていかなければならない。各地区役員と担当課で確認をしながらいく。

# 一般質問

## 時代に即した敬老式典を

関係者と相談し新しい方法を考えたい(町長)

西浜勝己 議員



法や、年齢、会場など関係者と協議し、時代に即応した見直しが必要ではないか。

**答** 川口町長 関係者と相談しながら、来年度は時代に即した方向で実施できるように煮詰めていきたい。

## 台風十四号の被害は十六箇所を災害査定に

(建設課長)

**問** 台風十四号の長雨による道路、河川、農作物

等の被害状況と今後の対応は、秋本建設課長 町道五箇所、普通河川三箇所

県管理河川四箇所、林道四箇所である。多少無理な所もあるが、再度、現地確認をして災害査定には全部出したい。

**答** 戸川産業振興課長 普及センターの調べで、水稲の倒伏が四十五ha、イチゴの冠水が一・五haで被害額は少額であった。

## 蛭でイベントを

考えては

蛭の保護を一番に

(町長)

**問** 最近、星谷運動公園から棚野水神さんまでの

約二kmの間で、蛭の饗宴が見られるようになった。この蛭で、町の第四のイベントを考えてはどうか。

**答** 川口町長 蛭生息の条件が整いつつあることは喜ばしいことだ。乱獲されたりすることのないよう蛭の保護を一番に考えながら、PRやイベントについて検討していきたい。



蛭生息で見直されてきた勝浦川ほり



特産品PRで頑張るすだちレディ(甲子園球場 阪神-広島戦)

## 勝浦ネットワーク交流の取り組みは

特産品など交流

可能なものから

(参事兼総務課長)

**問** 全国勝浦ネットワーク交流

の進み具合や内容はどうか。

**答** 滝花参事兼総務課長 教育

文化、産業、人などについて相互交流の実現を図り、将来、友好都市を目指すとの決議がされた。民間交流を基本として、

## 介護保険料 低所得者対応は

協議会で選任され、PR活動をしている。PR活動のない時には、許可を必要とするが、応援依頼は可能である。

介護保険料

低所得者対応は

**問** 十月から、六十五歳以

上の人への保険料徴収が開始される。支払い能力のない人をどのようにして救済するかをはっきりすべきだ。

**答** 川口町長 今のところ条例を制定して救済方法を明示することはできないが、恵まれない人に対する配慮は十分認識している。

# 初心者大歓迎

## 囲碁愛好会

代表者 坪内 勝さん

— 活動内容は。

会員二十名で常時囲碁クラブサロン（谷内青果）で対局を楽しんだり、毎月一回大会を開いて親睦と棋力の向上を図っています。

また、県や他郡市の各種大会に、個人や団体で参加し、好成績を修めています。

初心者の方、大歓迎です。お気軽に入会してください。

— 議会だよりの感想は。

町行政の動きが身近に感じられ、大変有益です。発行には、多大な労力を要すると思いますが、今後もよりよい「議会だより」を期待しています。

— 議会や町に対しての要望は。

厳しい財政の中で、諸施策の実現に向けて、努力されている議員並びに町職員の方々に敬意を表したいと思えます。

町民の一人として、過疎化が進んでいることが、何よりもさびしいことです。

若者に夢のある町づくりのために、思い切った発想を願っています。



環境改善センターでの囲碁大会

# 議会のうごき

## 8 月

- 7日 議会広報調査特別委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 町村議会議長会役員県外視察研修  
議会広報調査特別委員会
- 17日 勝浦町議会市町村合併調査研究会
- 22日 議会運営委員会  
東四国横断自動車道建設促進期成同盟会総会
- 23日 勝浦川整備促進特別委員会
- 30日 徳島県町村議会議員研修会
- 31日 厚生常任委員会

## 9 月

- 1日 全員協議会・総務常任委員会
- 4日 産業建設常任委員会
- 4～6日 総務常任委員会先進地視察研修
- 11日 9月定例議会開会・全員協議会  
厚生常任委員会
- 15日 敬老町民のつどい
- 18～19日 9月定例議会・一般質問
- 20日 議案審議・閉会・全員協議会

## 10 月

- 2日 勝浦町議会市町村合併調査研究会
- 3日 総務常任委員会決算審査
- 6日 総務常任委員会決算審査
- 11日 議会広報調査特別委員会
- 12日 喜楽苑拡張工事落成式
- 13日 専門学校評議員会
- 16日 勝名地区町村議会議長会臨時総会
- 17日 勝浦郡町村会議員研修会
- 18日 産業建設常任委員会
- 19日 四国地区町村議会議長会研修会  
議会広報調査特別委員会
- 21日 第10回勝浦町健康・福祉まつり
- 23日 総務常任委員会決算審査
- 24～26日 産業建設常任委員会先進地視察
- 27日 議会広報調査特別委員会
- 31日 徳島県町村議会議長会理事会  
議会広報調査特別委員会

## 編集後記

秋祭り、夜店と花火見物に孫たちと出かけました。境内には人が溢れ、十五軒ほどの夜店は子供たちで大繁盛です。

相次ぐ少年犯罪、不況による倒産や工場閉鎖など暗いニュースの多い昨今ですが、そこには笑顔がはじけ、活気に満ちた子供たちの姿がありました。

この子供たちが大きくなった時、勝浦で生まれ、育ち、そして住んでよかったと思えるような町にしたい。心も新たに編集に取り組みました。

「議会だよりかつら」も満三歳になりましたが、まだまだヨチヨチ歩きです。皆様のご意見やご指導をいただければ幸いです。

(義)



子どもでにぎわう鹿背山神社